

# 日本情報考古学会第39回大会 & 第2回雄山閣百周年記念シンポジウム

## 大会テーマ 3D技術と考古学

標記の大会・シンポジウムを下記の要領で開催いたします。今回は、テーマを「3D技術と考古学」とし、「第2回雄山閣百周年記念シンポジウム」を兼ねて、学術専門書籍出版社の雄山閣と共催で実施いたします。意義ある大会としたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。会員はもとより、研究者・学生・一般の方々も広く歓迎いたします。お誘いあわせのうえ、多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第39回大会実行委員会

期日： 2017年10月28日(土)・29日(日)

会場： **明治大学 駿河台キャンパス** (東京都千代田区神田駿河台1-1) リバティータワー1001教室  
JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩約3分  
東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分  
都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩約5分  
[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/access.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html) 学会HPでもお知らせします。

**第1日 10月28日(土) 1001教室 13:00 開始、17:45 終了 懇親会 18:00～**

**13:00-13:10 開会式 挨拶**

### 100周年 雄山閣百周年記念シンポジウム 3D技術と考古学

『季刊考古学』の最新号(特集 3D技術と考古学)の執筆者による講演と自由な討議。同号もご参照ください(当日も頒布いたします)。講演には同号の論考に書かれていないことや、その後の研究の展開なども含まれます。掲載されていない新しいテーマの講演もあります。どうぞご期待ください。

#### 3D関連特別セッション

- 3D 基調講演 1(研究発表 1) 13:10-13:30 三次元考古学の新天地—趣旨説明と展望—  
中園 聡(鹿児島国際大学)
- 3D 基調講演 2(研究発表 2) 13:30-13:50 精密三次元計測と応用研究  
水野敏典(奈良県立橿原考古学研究所)
- 3D 基調講演 3(研究発表 3) 13:50-14:10 一般的な遺物の記録と考古学研究への応用  
太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(鹿児島国際大学)
- 3D 基調講演 4(研究発表 4) 14:10-14:30 考古遺物のための三次元計測機開発  
千葉 史(株式会社ラング)
- 3D 基調講演 5(研究発表 5) 14:30-14:50 PEAKITによる考古遺物の視覚表現  
横山 真(株式会社ラング)
- 3D 基調講演 6(研究発表 6) 14:50-15:10 3次元計測点群からの接合資料生成と手順の可視化  
今野晃市(岩手大学)
- 休憩 ————— 15:10-15:15
- 3D 基調講演 7(研究発表 7) 15:15-15:35 普及する三次元記録とその応用—海外・隣接分野を含めて—  
平川ひろみ(同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学)
- 3D 基調講演 8(研究発表 8) 15:35-15:55 海外における文化遺産の記録・保護と3D技術—社会技術基盤の整備を補う手段として—  
野口 淳(NPO 法人南アジア文化遺産センター)
- 3D 基調講演 9(研究発表 9) 15:55-16:15 三次元計測の可能性を考える—実践からみる可能性と課題  
金田明大(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター)
- 3D 基調講演 10(研究発表 10) 16:15-16:35 地域資源の活用—博物館活動と三次元記録—  
川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター)
- 休憩 ————— 16:35-16:45

**シンポジウム・ディスカッション 16:45-17:45 「3D考古学を考える」**

適用例を考える/研究はどう変わるか/これからの課題…

※基調講演のタイトル等は若干変更になる場合があります。

**懇親会 18:00～ リバティータワー 17階 スカイラウンジ 曉(師弟食堂)**

**第2日 10月29日(日) 1001教室 9:30 開始、15:30 終了**

- 研究発表 11 9:30-9:50 土器遺物の産地問題に関する研究における分析化学  
○三辻利一(鹿児島国際大学)、中園 聡(同)、犬木 努(大阪大谷大学)
- 研究発表 12 9:50-10:10 関東地域における埴輪の生産・供給問題に関する研究  
○三辻利一(鹿児島国際大学)、犬木 努(大阪大谷大学)
- 3D 研究発表 13 10:10-10:30 A Study of Distortion Analysis with Elliptic Circularity for Rotational Shape of Earthenware Based on Measured Point Cloud  
○韓 菲(岩手大学)、木下 勉(東北学院大学)、千葉 史(株式会社ラング)、松山克胤(岩手大学)、今野晃市(同)
- 3D 研究発表 14 10:30-10:50 中国における3D考古学とその現状  
楊 帆(鹿児島国際大学大学院)
- 研究発表 15 10:50-11:10 造営尺推定プログラムの開発  
○西村 淳(函館大学)、西村匠悟(京三システム株式会社)
- 研究発表 16 11:10-11:30 7世紀寺院の回廊柱間に関する統計学的分析と使用尺度推定  
河嶋優輝(筑波大学大学院)

**(11:30-12:00 総会・学会賞授与式) ————— 昼食・休憩 ————— ~ 13:00**

**13:00-14:00 ポスターセッション・3D関連デモンストレーション コアタイム** ←

- 研究発表 17 14:00-14:20 考古学から見たホモ サピエンスの日本列島への渡来と拡散 第3報  
植木 武(共立女子学園名誉教授)
- 研究発表 18 14:20-14:40 沖縄県サキタリ洞遺跡の被熱遺構の磁化研究  
○菅頭明日香(青山学院大学)、酒井英男(富山大学大学院)、山崎真治(沖縄県立博物館・美術館)
- 研究発表 19 14:40-15:00 シリア・ドウアラ洞窟中期旧石器遺跡における炉跡焼土の磁化研究—被熱状況と地磁気の復元—  
○酒井英男(富山大学理学部)、木村 賛(元東京大学理学部)、赤澤 威(元高知工科大学)
- 研究発表 20 15:00-15:20 考古地磁気による噴砂(古地震)の年代推定  
○酒井英男(富山大学理学部)、泉 吉紀(同)、名古屋岳秀(同)、野垣好史(富山市埋蔵文化財センター)、卜部厚志(新潟大学・災害復興科学研究所)

**15:20-15:30 閉会挨拶**

**ポスターセッション・3D関係デモ(第2日 13:00-14:00 ※掲示・展示は両日ですが、コアタイムを設けます。)**

- 研究発表 21 地中レーダ探査による有珠オヤコツ遺跡の研究  
○泉 吉紀(富山大学)、酒井英男(同)、伊達元成(伊達市噴火湾文化研究所)、中村和之(函館工業高等専門学校)
- 3D 研究発表 22 速報・三次元計測を多用した発掘調査—三島村黒島大里遺跡—【三次元計測のデモを含む】  
○中園 聡(鹿児島国際大学大学院)、太郎良真妃(同)、平川ひろみ(同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学)
- 3D 研究発表 23 地域と文化資源をつなぐ三次元記録とレプリカ【三次元計測のデモ及びレプリカの展示を含む】  
川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター)
- 3D 研究発表 24 東京都大田区久ヶ原遺跡採集弥生土器の3D計測—学史的資料を3D化することによって見えたこと—  
野口 淳(NPO 法人南アジア文化遺産センター)、斎藤あや(大田区立郷土博物館)
- 3D ■ 株式会社 **CUBIC** (デモ展示)「遺物・遺構実測支援システム with PhotoScan」
- 3D ■ 株式会社 **ラング** (デモ展示)「Photo PEAKIT」 ■ 株式会社 **雄山閣** (季刊考古学 140号ほか書籍) ほか

□ 大会参加費(『日本情報考古学会講演論文集』Vol.19(通巻39号)・当日配布資料込み) 会員 2000円。一般・非会員は、特別に1000円で2日間ご参加いただけます(ただしシンポ関係の当日配布資料のみ。他の発表を収録した講演論文集が必要な方は別途)。  
□ 懇親会は、第1日(土)18:00より。懇親会費 4000円を予定。(詳細は学会HPをご覧ください) □ 宿泊は各自でご予約下さい。  
□ 当日参加も可能ですが、人数把握のため会員・非会員にかかわらずメールで「大会参加」「懇親会出席」について事務局 [archaeoinfoiuk@gmail.com](mailto:archaeoinfoiuk@gmail.com)宛お知らせくだされば幸いです。複数人でご参加の場合是一緒にご連絡いただいで結構です。  
□ 第2日(日)は学内の食堂が利用できません。昼食は各自でご用意ください。大学近隣に食事ができる店が多くあります。  
□ 詳細・変更等は学会ホームページで逐次ご案内します。必ずご確認ください。 <http://www.archaeo-info.org/>  
□ お問い合わせ等は、学会事務局まで必ずメールでお願いします。 [archaeoinfoiuk@gmail.com](mailto:archaeoinfoiuk@gmail.com)